

法蔵館書店ニュース 9月

目次

話題の本 P1
法蔵館新刊案内 P2~5
法蔵館重版案内 P5
法蔵館刊行予定案内 P6
法蔵館書店のおすすめ本 P7~15

特集1:『生きる』この意味とは? P16~17
特集2:2025年(令和7年)カレンダー P18
お知らせ P19
法蔵館書店ベスト10・
メール配信サービスご案内 P20

★お知らせ★ 9、10月の書店休業日

9月のお休み:1日・8日・15日・22日・29日
10月のお休み:6日・13日・20日・27日

話題の本

●軍事研究 9月号(2024/8/9)

『新発見書簡で読み解く 軍医森鷗外』

—後輩軍医佐藤恒丸に問う海外情勢—

石川 肇・林 正子・松田利彦編
A5判・284頁・2,750円・ISBN:978-4-8318-6285-3

●中外日報(2024/8/9)

『絶望のトリセツ』

—人生の危機をのりきる方法—

根本一徹・川本佳苗著・四六判・168頁・1,540円
ISBN:978-4-8318-2462-2

●読売新聞[夕刊](2024/8/8)

『天王寺舞楽』

小野真龍著・四六判・288頁・2,640円
ISBN:978-4-8318-6286-0

●愛媛新聞(2024/8/5)

『敦煌莫高窟と千仏図』

—規則性がつくる宗教空間—

末森 薫著・B5判・354頁・13,200円
ISBN:978-4-8318-7731-4

●中外日報(2024/8/2)

『超越のささやき』

—「こころ」を取り戻すための宗教六講—

八木 誠一著・四六判・158頁・1,760円
ISBN:978-4-8318-1062-5

●仏教タイムス(2024/7/25)

『大瀛『横超直道金剛鐺』の意識と 翻刻(一)』【龍谷大学仏教文化研究叢書47】

三業惑乱研究会著・A5判・268頁・5,500円
ISBN:978-4-8318-7935-6

●徳島新聞[朝刊](2024/7/23)

『四国遍路—迷子のおとなたち』

畠田秀峰著・A5判・412頁・3,850円
ISBN:978-4-8318-5758-3

●東京新聞[夕刊](2024/7/22)

●中日新聞[夕刊](2024/7/20)

『古墳と壁画の考古学』

—キトラ・高松塚古墳—

泉 武・長谷川 透著・四六判・234頁・2,200円
ISBN:978-4-8318-7769-7

●西日本新聞(2024/7/20)

『九州真宗の社会と文化』

【筑紫女学園大学人間文化研究所叢書 3】

中川正法・小林知美・岡村喜史編
A5判・640頁・7,700円・ISBN:978-4-8318-7928-8

●『室報』No.7 設立50周年記念号(2024/7)

【シリーズ宗教と差別 第3巻】

『差別の地域史—渡辺村からみた日本社会—』

磯前順一・吉村智博・浅居明彦監修
小倉慈司・西宮秀紀・吉田一彦編
A5判・280頁・3,080円・ISBN:978-4-8318-5723-1

法蔵館文庫

◆死者の結婚——慰霊のフォークロア

【宗教／社会】

櫻井義秀著・文庫判・384頁・1,430円・ISBN:978-4-8318-2675-6

「結婚」とは何か。東アジアで行われる死者に対する結婚儀礼の種々の類型を事例に、その社会構造や文化動態の観点から考察する。

■目次

文庫版へのまえがき

はしがき

第一章 未婚の死者に捧げる絵馬

第二章 祖先崇拜と社会構造

第三章 花嫁人形と死者への思い ほか

ためし読み



◆ラクダの文化誌——アラブ家畜文化考

【文化史／民族誌】

堀内 勝著・文庫判・552頁・2,035円・ISBN:978-4-8318-2676-6

アラブ遊牧民はラクダをどう扱い、共に生きてきたのか。ラクダに関する膨大な知識を網羅し、ラクダとアラブ文化の実態を描き出す。

■目次

はじめに

第1章 アラブのラクダ観

第2章 名高いラクダ——アラブ種の名種、名産地

第3章 ラクダを崇める——サムード族伝説と神聖ラクダ

第4章 ラクダを記す——歴史に名高いラクダ ほか

ためし読み



◆中世文芸の地方史

【日本史／中世】

川添昭二著、佐伯弘次解説・文庫判・472頁・1,870円
ISBN:978-4-8318-2677-0

中世九州を舞台に、中世文芸の社会的あり方を「政治」との関係から追究。政治・宗教・文芸が一体をなす中世社会の様相を明らかにする。

■目次

序章 政治・宗教・文芸

第一章 大宰府の宮廷文化

第二章 神祇文芸と鎮西探題歌壇

第三章 蒙古襲来と中世文芸

第四章 今川了俊の教養形成 ほか

ためし読み



◆ひとりふたり・・——報恩講を迎える

【真宗／仏教】

ためし読み



四衢 亮編・A5判・24頁・136円

※30部以上は1部110円、100冊以上はさらに送料無料

身近な話題から仏教・真宗の教えにふれる聞法誌。

定期購読をお申込みいただくと……

優先的にいち早くお届け!

買い忘れなく安心です!

詳しくは、法蔵館書店まで。

定期購読
受付中!



《目次》

- ◎いのちの言葉 子どもたちの命 …………… 武田信子
- ◎真宗で終活! このことひとつ一念仏申す生活を………… 小林尚樹
- ◎はてなの仏教用語 恩愛 …………… 木村宣彰
- ◎真宗のしきたりの不思議
喪中にしてはいけないことは? …………… 松本智量
- ◎おうちで精進料理(秋) 里芋ミルクのトリュフ …………… 西川玄房
- ◎カンタン英語で浄土真宗入門 英語で和讃に親しむ …… 大來尚順
- ◎お寺でヨーガ
リハビリヨーガー健やかな身体を保つ技………… Yai
- ◎このお経ってどんな意味? 讃仏偈(嘆仏偈)④ …………… 三浦真証



◆新装版 和讃——仏教のポエジー

【仏教／真宗】

武石彰夫著・四六判・228頁・1,980円・ISBN: 978-4-8318-6702-5

宗教感情の結晶として高い文学性を持つ和讃。起源と発展を辿り、込められた詩情を解説。

■目次

- 第一章 和讃の形成と展開
- 第二章 親鸞における詩の創造
- 第三章 『梁塵秘抄』と仏教歌謡
- あとがき

ためし読み



◆解脱房貞慶の世界

【仏教／中世】

——『観世音菩薩感應抄』を読み解く 〔龍谷大学仏教文化研究叢書53〕

阿部泰郎・楠 淳證編・四六判・386頁・2,750円・ISBN:978-4-8318-6289-1

鎌倉時代の名僧・貞慶の生涯と仏教思想、後代への影響などを、貞慶に関心を寄せてきた諸分野の研究者たちが結集し、多角的に解説。

■目次

- 序章 解脱房貞慶を尋ねて〔阿部泰郎〕
- 第一章 貞慶の生涯とその著作〔阿部泰郎〕
- 第二章 『観世音菩薩感應抄』解説
——行者の信仰実践の書〔楠 淳證〕
- 第三章 『観世音菩薩感應抄』への多角的アプローチ
- 終章 貞慶の記憶とその遺産〔阿部泰郎〕 ほか

ためし読み



◆歎異抄を読む——今、念仏に生きる意味を問う

【仏教／真宗】

田中好三著・四六判・166頁・1,430円・ISBN:978-4-8318-8806-8

国語の教員として長年勤めてきた著者が、人間の本質を鋭く見抜いた親鸞に惹かれ、古典文学の枠を超えた『歎異抄』の魅力を伝える。

■目次

- はじめに
- 1 親鸞とその時代
- 2 親鸞聖人の教えを正しく伝えたい(序文)
- 3 すべての人を即座に救う阿弥陀さま(第一条)
- 4 極楽か地獄かは私の知るところではない(第二条)
- 5 煩惱まみれを自覚した悪人こそ救われる(第三条)

ためし読み



◆魚山余響略註

【仏教】

——江戸時代後期、西本願寺の声明事情を読む

藤波蓮鳳著・A5判・456頁・13,200円・ISBN:978-4-8318-6288-4

江戸後期の西本願寺の僧・知影が著した、魚山での見聞録。魚山声明や、宮中での御懺法講、当時の西本願寺の声明事情が浮き彫りに。

■目次

- 一、『魚山余響』について
 - 一 著者知影とその周辺
 - 二 『魚山余響』の位置と内容
 - 三 『魚山余響』から見える側面
- 附論 西本願寺における法儀声明の変遷
- 二、『魚山余響』 脚註および解説 ほか

ためし読み



荻谷定彦 小西日遼 大平宏龍 三先生頌寿記念論文集

【仏教】

◆法華仏教の潮流——教えと学びの道しるべ

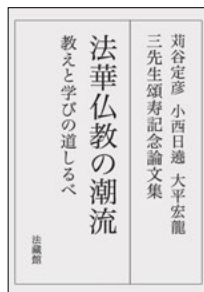
荻谷定彦 小西日遼 大平宏龍 三先生頌寿記念論文集刊行会編・A5判・1,026頁・22,000円
ISBN:978-4-8318-7782-6

法華宗の教学研究与後学指導に尽力されてきた三名の先生方の頌寿を祝し、宗門内外の研究者総勢45名による論攷を集めた珠玉の論文集。

■目次

口絵 荻谷定彦・小西日遼・大平宏龍 三先生近影
巻頭の辞……金井孝顕
序文……林橋祐史
法華經の菩薩思想……末木文美士／法華經「如来寿量品」について……岡田行弘／仏教言説の歴史的象徴化という営為……下田正弘 ほか

ためし読み



◆評伝・小林正盛しょうせい

星野英紀著・四六判・174頁・1,430円・ISBN:978-4-8318-5574-9

真言宗豊山派総本山長谷寺第66代化主・小林正盛。夢を追ひ、情熱を持って様々な活動に奔走したその生涯を宗教社会学の視座から描く。

■目次

はじめに
第一章 小林正盛の経歴と人となり
第二章 前半生と新仏教徒同志会
第三章 四国遍路
第四章 佐賀誕生院再興へ邁進 ほか

ためし読み



【仏教史／近代】



法蔵館重版案内

◆永明延寿と『宗鏡録』の研究

——一心による中国仏教の再編

柳 幹康著・A5判・500頁・7,700円・ISBN:978-4-8318-7389-7

中国仏教を「一心」という概念によって統合化を図り、永明延寿の全体像を解明。中国仏教史に新たな息吹を伝える迫真の論考！

■目次

序論
第一章 人と著作
第二章 隋唐の仏教解釈論と延寿
第三章 唐代禪の修証論と延寿
第四章 『宗鏡録』と宋代仏教
第五章 後代における延寿像
[第62回 日本印度学仏教学会賞 受賞]

【仏教】 2刷



法蔵館刊行予定案内

〈2024年10月 刊行予定〉

◆陰陽道の神々 決定版

法蔵館文庫

【民俗】

斎藤英喜著・文庫判・予400頁・1,650円・ISBN:978-4-8318-2678-7

泰山府君、牛頭天王、金神、八王子、大將軍など、忘れられてきた冥界や疫病、暦や方位などに関わる陰陽道の神々をまとめた他に類のない名著、待望の文庫化。

◆涅槃経入門

法蔵館文庫

【仏教】

横超慧日著、下田正弘解説・文庫判・264頁・1,320円・ISBN:978-4-8318-2679-4

釈尊最期の教えを伝える『涅槃経』の成立過程や思想内容をわかりやすく解説した好著。日本の仏教にも多大なる影響を与えた『涅槃経』の真髄とは何か。

◆仏教について

法蔵館文庫

【仏教】

西谷啓治著、氣多雅子解説・文庫判・256頁・1,320円・ISBN:978-4-8318-2680-0

宗教哲学的思索の土台の上、広く深い視界から現代世界において仏教が抱える問題をやさしい言葉で丁寧わかりやすく語る。七〇歳代の西谷が語った講演の記録。

◆絵葉書にみる日本近代美術100選

【近代史／美術】

劉建輝編著・四六判・144頁・1,760円・ISBN:978-4-8318-5654-8

明治から昭和にかけての日本の近代美術絵葉書をカラーで収載。文展・帝展・二科展の初期作品、京都画壇の作品、軍事郵便絵葉書まで。いまよみがえる掌美術館。

◆植民地朝鮮の予言と民衆宗教

【朝鮮史／宗教史】

朴海仙著・四六判・256頁・3,080円・ISBN:978-4-8318-5586-2

予言書『鄭鑑録』の基礎的考察と、同書をモチーフに成立した民衆宗教の動向を日本諸勢力との提携過程に注目して整理。様々な思惑が絡み合う植民地近代の位相を描く。

◆親鸞の生涯と高田門徒の展開

【真宗／仏教史】

——平松令三遺稿論文集1

平松令三著・A5判・予370頁・11,000円・ISBN:978-4-8318-8761-0

親鸞および真宗の歴史学的研究に多大な影響を与えた著者の論文を集成。親鸞の生涯における転換点、真宗高田派の歴史等、史料を駆使し幅広く論じる。

◆禅に学ぶ精神分析——無意識と絶対無

【心理学／言語哲学】

西村則昭著・四六判・予304頁・3,520円・ISBN:978-4-8318-8805-1

束縛から自由への道を示す禅、自己疎外からの解放を目指す精神分析。その禅と精神分析の出会いを究明し、哲学的精神分析家ラカンを導き手として、本来的自己を探る。

法蔵館書店のおすすめ本

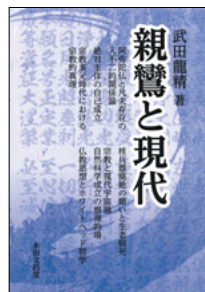
◆親鸞と現代

武田龍精著・四六判・341頁・3,080円〈永田文昌堂〉

主に、阿弥陀如来と凡夫存在の入不二的関係論、宗教多元時代における浄土教の脱構築の問題、核兵器の時代における「生老病死」、宗教と現代宇宙論、宗教と科学のあいだに関する課題、仏教思想とホワイトヘッド哲学について考察する。

■目次

- 第一章 親鸞浄土仏教における主体性の問題
- 第二章 親鸞浄土仏教再解釈の一視座
- 第三章 核兵器の時代における「生老病死」
- 第四章 宗教と現代宇宙論 ほか



◆真宗佛光寺派の伝承で見る 宗祖 親鸞聖人 御絵伝

真宗佛光寺派御伝絵・御伝文研究会編・B5判・42頁・330円
〈真宗佛光寺派御伝絵・御伝文研究会〉

親鸞聖人のご生涯を絵図で表した「御絵伝」について、ご門徒様はじめ皆様に真宗佛光寺派独自の伝承を踏まえながらその内容を分かりやすく説明するため令和5年に厳修された慶讃法会を契機に作成。

■目次

- 第一幅第一図 青蓮院
- 第一幅第二図 慈鎮和尚対面 聖人薙染
- 第一幅第三図 吉水入室
- 第一幅第四図 六角堂靈告
- 第一幅第五図 選択集附属 真影銘文 ほか



講談社学術文庫 2832

◆空の構造——「中論」の論理

立川武蔵著・文庫判・200頁・1,056円〈講談社〉

インド哲学の泰斗が若かりし頃に記した、エネルギー溢れる筆致が、「俗」から「空」、「悟り」「聖なる世界」へ解脱の境地へと誘う！

■目次

- 第1章 『中論』における「聖なるもの」と「俗なるもの」
 - 1 『中論』の歴史的位置
 - 2 『中論』の思想的位置
 - 3 『中論』における世俗と最高真理
- 第2章 「空」の構造
 - 1 「俗なるもの」の構造 ほか



中公新書 2812

◆サンスクリット入門——インドの思想を育んだ「完全な言語」

赤松明彦著・新書判・424頁・1,430円〈中央公論新社〉

仏や卒塔婆はもちろん、ジャングルもアバターも、語の起原はサンスクリットにある。日本にも仏教と共に伝わり、50音の配列はサンスクリット由来とされるように、その影響は大きい。「完全な言語(サンスクリタ)」の文法を学びながらインド文化の精華に触れよう。

■目次

初めに

第1課 文字と発音

第2課 音の変化と意味の変化

第3課 内連声の規則

第4課 母音の外連声の規則 ほか



◆真宗からの華嚴・天台読本1 経典編

北塔光昇著・B5判・81頁・1,980円〈永田文昌堂〉

一仏乗の基本的な宗旨に華嚴宗と天台宗があげられ、これらは真宗僧侶が親鸞聖人の教えを学ぶ基礎学として非常に重要である。この書では華嚴・天台の教義を学ぶ前提として、それらの根本経典の内容を真宗との関係をも考えながら概観する。

■目次

所依の経論

「涅槃經」

「華嚴經」

「菩薩瓔珞本業經」

「法華經」

「梵網經」



◆『浄土論』講讃 十二講 ——『教行信証』『証文類』の引文を基にして

北塔光昇著・A5判・271頁・6,050円〈永田文昌堂〉

真宗教義の根幹を為すものが、『浄土論』であり『論註』である。この書では、宗祖親鸞聖人が『論註』の多くを引かれた教行信証「証文類」への引用箇所を中心にして、『浄土論』を解説する。

■目次

序講

『浄土論』科段

第一講 (1)『浄土論』要説／(2)『浄土論』全容

第二講 (1)浄土宗の教義／(2)真宗の鎮西義解釈

第三講 (1)真実の証／(2)浄土の仮名人の体 ほか



◆観音・地蔵・不動 庶民のほとけ

頼富本宏著・文庫判・320頁・1,430円(KADOKAWA)

日本人に人気の観音菩薩・地蔵菩薩・不動明王は、どのような起源をもつのか。観音だけでも、聖観音・千手観音・如意輪観音・馬頭観音……と多数の「変化(へんげ)」があるのはなぜなのか。こうした疑問に答え、篤く信仰されてきた理由を明らかにする。仏教美術の名品と密教の関わりや、日本各地の歴史ある仏像のエピソード、西国三十三か所などの由緒ある寺社も紹介。

■目次

- ・観音菩薩の起源と流伝
- ・観音菩薩のすがたとその意味
- ・慈悲のほとけ観音菩薩の利益
- ・地蔵菩薩の伝播とすがた
- ・救済のほとけ地蔵菩薩の利益 ほか



◆千日回峰行

光永覚道著・四六変判・243頁・2,200円(春秋社)

比叡山・天台宗に伝わる荒行=回峰行。千日回峰行を満行し、十二年籠山行を遂行した光永阿闍梨が、回峰行とは何か、〈生きる〉とは何かを、縦横に語る魅力の〈回峰行大全〉。

■目次

- 第1章 比叡の四季
- 第2章 出家一生い立ちから回峰行入行まで
- 第3章 回峰行とは
- 第4章 菩提を求めて一千日回峰行1
- 第5章 人々の祈願とともに一千日回峰行2 ほか



◆『正法眼藏』『現成公案』提唱

青山俊董著・四六判・183頁・2,090円(春秋社)

『正法眼藏』冒頭の「現成公案」、あらゆる存在と仏性の関係を細やかに著した道元禅師の代表的著作を、当代随一の禅僧が現代人の生き方の問題の視点から力強く語り明かす。

■目次

- 現成公案 原文 一 『現成公案』解題
- 序 道元禅師の御生涯 生かされているわが命
- 藤原摂関家を捨て比叡山へ 悉有と仏性
- 建仁寺での修行と承久の变 「法」の三つの意味
- 入宋と如浄禅師との相見 ほか 仏性、仏教、仏道 ほか



わが家の宗教を知る

◆【新版】うちのお寺は浄土真宗

藤井正雄監修、小松事務所編著・A5判・216頁・1,980円〈双葉社〉

開祖はこんな人「親鸞聖人」經典・著書にみる教義「浄土真宗の教え」、宗門史に名を残す「浄土真宗の念仏者たち」、ぜひ訪ねたい「浄土真宗ゆかりのお寺」、知っておきたい仏事作法・行事など、この1冊でわが家の宗派と仏事のことがまるわかり。一家に一冊あると便利な完全保存版。

■目次

- 第1章 ここを見ればすべてわかる「浄土真宗早わかり」
- 第2章 開祖はこんな人「親鸞聖人」
- 第3章 經典・著書にみる教義「浄土真宗の教え」
- 第4章 宗門史に名を残す「浄土真宗の念仏者たち」 ほか



わが家の宗教を知る

◆【新版】うちのお寺は曹洞宗

藤井正雄監修、小松事務所編著・A5判・212頁・1,980円〈双葉社〉

開祖はこんな人「高祖道元」「太祖瑩山」經典・著書にみる教義「曹洞宗の教え」、宗門史に名を残す「曹洞宗の名僧たち」、ぜひ訪ねたい「曹洞宗ゆかりの名刹」、知っておきたい仏事作法・行事など、この1冊でわが家の宗派と仏事のことがまるわかり。一家に一冊あると便利な完全保存版。

■目次

- 第1章 ここを見ればすべてわかる「曹洞宗早わかり」
- 第2章 両祖はこんな人「高祖道元禪師」
- 第3章 両祖はこんな人「太祖瑩山禪師」
- 第4章 經典・著書にみる教義「曹洞宗の教え」 ほか



わが家の宗教を知る

◆【新版】うちのお寺は真言宗

藤井正雄監修、小松事務所編著・A5判・212頁・1,980円〈双葉社〉

開祖はこんな人「弘法大師空海」經典・著書にみる教義「真言宗の教え」、宗門史に名を残す「真言宗の名僧たち」、ぜひ訪ねたい「真言宗ゆかりの名刹」、知っておきたい仏事作法・行事など、この1冊でわが家の宗派と仏事のことがまるわかり。一家に一冊あると便利な完全保存版。

■目次

- 第1章 ここを見ればすべてわかる「真言宗早わかり」
- 第2章 開祖はこんな人「弘法大師空海」
- 第3章 經典・著書にみる教義「真言宗の教え」
- 第4章 宗門史に名を残す「真言宗の名僧たち」 ほか



◆熊野観心十界図という誘惑

——東アジアの死霊救済儀礼をめぐる精神史

西山 克著・四六判・367頁・3,960円〈岩波書店〉

熊野比丘尼による地獄極楽の絵解きで知られる熊野観心十界図。極彩色の迷宮のような画面の奥に目を凝らすと、東アジアの死霊救済儀礼の豊穡な世界へと通じる道筋が見えてくる。その原型となった朝鮮の〈甘露図〉へ、さらにその背後にある中国の〈水陸画〉へ、絵画の来た道を廻りながら読み解く、生と死を巡る東アジア精神史。

■目次

- 第一章 聖痕としての熊野
- 第二章 隠された部屋
- 第三章 悲の器——朝鮮甘露図の世界
- 第四章 熊野観心十界図へ



歴史文化ライブラリー 593

◆平安京の生と死——祓い、告げ、祭り

五島邦治著・四六判・215頁・1,870円〈古川弘文館〉

平安時代、死者は夢や巫女の託宣を通して、現世の人に饒舌に語りかけた。人々は死者や霊魂、異界をどのように捉えていたのか。遺体に対する意識、御霊による疫病、浄土へのあこがれ、巫女の能力と権益、現世と異界との境界などから究明。「生と死の交流」を通して生まれた建築・絵画・文学・祭礼などに触れ、都市の生活と豊かな精神文化に迫る。

■目次

- | | |
|----------|---------|
| 平安貴族の死生観 | あの世の伝達者 |
| 御霊と疫病 | 異界との境界 |
| 浄土へのあこがれ | |



◆読み解き古代史料

石上英一・加藤友康・田島 公・山口英男著
B5判・171頁・3,300円〈山川出版社〉

古文書・古記録の読み解き方を、懇切丁寧に解説。文書写真を大きく掲げ、1文字ずつ読解、語句説明や現代語訳も付す。さらに文書のさまざまな様式や機能、古代の儀礼や政務など、古代史研究に必須の知識が習得できる。

■目次

- I 文書の作成と機能 …… 石上英一
- II 制度と政務 …… 山口英男
- III 儀式書と故実 …… 田島 公
- IV 記録と貴族社会 …… 加藤友康



◆合掌のすがた——帰依三宝の称名念仏

大窪康充著・新書判・19頁・110円〈東本願寺出版〉

どうして念仏申すのか——。本尊と向き合う時と場が喪失されつつある現代において、親鸞聖人の言葉やその姿勢から、本尊を前に合掌し「南無阿弥陀仏」と称えることの大切さを尋ねる小冊子。

■目次

はじめに

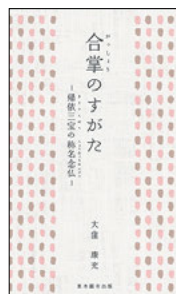
分別心の目覚め

三宝に帰依する合掌のすがた

親鸞聖人としての帰依三宝

称名念仏と現代の宗教観

おわりに



◆慈悲の瞑想——慈しみの心

バンテ・ヘーネボラ・グナラタナ著、出村佳子翻訳
四六判・251頁・2,750円〈春秋社〉

自己から他者、そして生きとし生けるものすべての幸せを祈る慈悲の瞑想。このあらゆる瞑想の基本を、マインドフルネスの大家が仏教經典の『慈經』に基づき、その方法とメリットを詳しくかつわかりやすく説き明かした、完全ガイドブック。

■目次

第1章 慈しみは人の自然な心

第2章 慈悲の瞑想

第3章 慈しみを育てる8つの方法

第4章 穏やかな心でいる練習

第5章 慈しみを行動 ほか



◆仏教心理学入門

千石真理編著・四六判・214頁・2,970円〈晃洋書房〉

心理学の発展には、仏の教えと実践が大きな影響を与えてきた。「いのち」の支援に携わる人には是非、読んでほしい。心理療法や教育、高齢者福祉の専門家が仏教の叡智を活かして、「生」「老」「病」「死」にまつわる現代人の不安と苦悩を解決に導く処方箋である。

■目次

第1章 発展するアメリカ仏教

第2章 仏教と内観

第3章 森田療法と仏教

第4章 心理臨床から見た原始仏教

第5章 佛教とユング心理学 ほか



別冊100分de名著

◆宗教とは何か——「信じること」を解明する

釈 徹宗・最相葉月・片山杜秀・中島岳志著
A5判・139頁・1,100円〈NHK出版〉

「100分de宗教論」(2024年1月2日放送)が待望の書籍化! 豪華著者陣が名著の核心を読み解きながら、心理学やノンフィクション、政治学、文学といった「多角的な視点」で宗教をとらえる。新たな取材を加え議論を分かりやすく整理した決定版!

■目次

- 第1章 人間と宗教のメカニズム 釈 徹宗 「予言がはずれるとき」
- 第2章 信仰に生きるということ 最相葉月 「ニコライの月」
- 第3章 絶対的な「信じる心」と戦争の時代 片山杜秀 「大儀」
- 第4章 神はどこにいるのか 中島岳志 「深い河」



文春新書 1462

◆宗教を学べば経営がわかる

池上 彰・入山章栄著・新書判・254頁・990円〈文藝春秋〉

変化が激しい時代だからこそ、ビジネスパーソンにとって宗教を学ぶことが不可欠だ——。博覧強記のジャーナリストと希代の経営学者が初対談。キリスト教やイスラム教から、トヨタやホンダ、イーロン・マスクまで。人や組織を動かす原理に迫る。

■目次

- 本書を手にとった方へ 入山章栄
- 第一章 トヨタはカトリック、ホンダはプロテスタント
 - 第二章 イノベーションのためには、宗教化が不可欠
 - 第三章 どんなビジネスも最初は「カルト」 ほか



◆寺院のための法律基礎知識Q&A

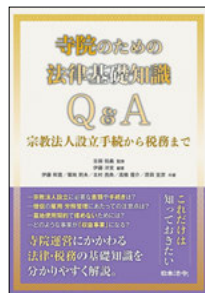
——宗教法人設立手続から税務まで

弁護士: 志田祐義監修、伊藤洋実編著
伊藤和貴・菊地則夫・北村亮典・高橋優介・原田宜彦著
A5判・320頁・3,190円〈日本法令〉

寺院関係者として「これだけは」知っておきたい法律・税務の基礎知識を幅広くカバー。檀信徒や僧侶とのトラブルを避け、正しい寺院運営を行っていくためにははじめの一冊。

■目次

- 第1章 宗教法人に関する基礎知識
- 第2章 寺院内部の法律問題
- 第3章 墓地等に関する法律問題
- 第4章 寺院と檀信徒等との法律問題 ほか



◆先生、宗教についてゼロから教えてください

中村圭志著・四六判・253頁・1,848円〈マイナビ出版〉

本書は、世界中の主な大宗教として、ユダヤ教、キリスト教、イスラム教、ヒンドゥー教、仏教を取り上げます。また主な宗教だけでなく、神道などの民族宗教も含めて、「宗教」とは何か?・なぜ信じるのか?・争いのもとになるのはなぜか?といった、皆さんが「宗教」に対して不思議に思う点について、ゼロから答えていきます。

■目次

- 第1章 宗教を理解するには
- 第2章 ユダヤ教—民族の宗教
- 第3章 キリスト教—救世主の宗教
- 第4章 イスラム教—戒律の宗教
- 第5章 ヒンドゥー教—輪廻の宗教
- 第6章 仏教—悟りの宗教 ほか



◆ようこそ じごくへ——新地獄草紙

広松由希子:文、100%ORANGE:絵・A4変判・34頁・1,980円
〈玉川大学出版部〉

人は生きているときにわるいことをすると、死んだら地獄におちるといわれています。地獄なんてない、という人もいますが、ほんとうにそうでしょうか。12世紀の日本でうまれた絵巻『地獄草紙』から想像をふくらませて現代によみがえった地獄をめぐり、地獄とはなんなのか考えてみましょう。

■目次

- ようこそ じごくへ
- 地獄はどこに?



NHK宗教の時間

◆柳 宗悦——美は人間を救いうるのか(上)

若松英輔著・A5判・156頁・1,100円〈NHK出版〉

柳宗悦は、近代日本を代表する思想家のひとりです。彼の生涯と境涯を見つめ直してみたいと思っているのですが、今なぜ、柳なのかという問題をまず、考えてみたいと思います。

■目次

- 第1回 目には見えないもの
- 第2回 神思うゆえにわれあり
- 第3回 朝鮮の友へ 力の時代のなかで
- 第4回 木喰仏に見出されて
- 第5回 「民藝」の誕生
- 第6回 日本民藝館 美のさなかに立つ



◆真宗大谷派手帳 2025年版

東本願寺出版編・148×96mm・715円〈東本願寺出版〉

月間・週間予定表、真宗本廟・大谷祖廟における収骨・読経・帰敬式などのお取り扱いなどのご案内を網羅。週間予定表にはこころに響くことばを掲載。鉛筆・住所録・全国主要都市地下鉄路線図付。

2025年版よりアドレス帳を廃止しております。
ご希望の方は別途、東本願寺出版部へお問合せください。
また、2026年版より、鉛筆を廃止いたしますのでご了承ください。



法語カレンダー随想集

◆今日のことば 2025

真宗大谷派宗務所編・新書判・83頁・110円〈東本願寺出版〉

毎年発行される『法語カレンダー』のことばを身近に感じていただくための随想集【2025年版】。

■目次

【表紙】宗教とは生死を貫くまこと一つの教え 中西智海

【1月】いつでも どこでも 誰でもたすける行 それは念仏 竹中智秀

【2月】「名号」は 私たちの地獄に響く 阿弥陀のいのち 高 史明

【3月】真の智慧は そのまま大悲でもある 上山大峻

【4月】この私のいのちにいつも如来のいのちが通い続けている 藤澤量正

【5月】仏さまというのは 向こうから私のところへいつも来ているはたらきです 近田昭夫 ほか



法 藏 館 書 店 新 着 雑 誌 案 内

◆同朋 9月号

〈東本願寺出版〉

真宗大谷派宗務所出版部編・A4判・56頁・400円

生活に密着した話題から親鸞聖人の教えまで、日々の暮らしのなかにある大切なことを見つめる月刊誌。

■目次

◎インタビュー FUNI(ラッパー・詩人)
自分の感情に正直に、代弁不可能でも言葉に。

◎特集 民藝——他力の美

新連載

録音から立ち現れる東本願寺の「音景」／柳沢英輔
一切の幸せ／作＝岩川ありさ 絵＝惣田紗希 ほか

◆大乘 9月号

〈本願寺出版社〉

大乘刊行会編・B5判・88頁・375円

門信徒の家族が楽しく浄土真宗に親しむための月刊誌。お念仏のよろこびをご家族のみなさまにお届けします。

■目次

・ご機言！ お寺の掲示板……江田智昭
・結婚してお坊さんになりました「立ち通し」……前田純代
・なるほど仏教ライフ「承認」……西原祐治
・みのりのエッセー
「快樂安穩一仏さまのはたらき」……佐々木隆晃 ほか

特集1 『生きる』ことの意味とは？

「生まれてこないほうが良かった？」そんなことはありません！
「生きることに意味はあるのか？」ちゃんとあります！
生きること、命のことをいま一度考えてみます。

ひとりふたり・・聞法ブックス 8

◆今、今日を生きる

田畑正久著・B6変判・58頁・419円・ISBN:978-4-8318-2138-6〈法蔵館〉

あなたは「明日こそ、明日こそ」と思い、空しい毎日、人生を過ごしていませんか。仏教と医療の橋渡しに取組む現役医師が語る人生論。



◆いのちに関する5つのレクチャー

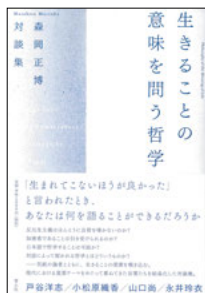
仁愛大学宗教教育研究センター著・四六判・185頁・1,980円
ISBN:978-4-8318-2416-5〈法蔵館〉

生命をモノとして操作する現代、「いのちとは何か」を問いつづける5人の仏教者が生命観を熱く語る。

◆人生の意味の哲学入門

森岡正博・蔵田伸雄編・四六判・303頁・2,420円〈春秋社〉

「生きることに意味はあるのか？」繰り返し問われてきたこの問いに、分析哲学から厳密にアプローチする21世紀英語圏の新たな哲学的ムーブメントはほとんど知られていない。本書はその入門書であり、かつ、それを踏まえた日本の人生の意味哲学の最前線だ！



◆生きることの意味を問う哲学

——森岡正博対談集

森岡正博著・四六判・220頁・2,200円〈青土社〉

「生まれてこないほうが良かった」と言われたとき、あなたは何を語ることができるだろうか。反出生主義はほんとうに自殺を導かないのか？ 加害者であることは引き受けられるのか？ 日本語で哲学することは可能か？ 対話によって開かれる哲学とはどういうものか？ 一気鋭の論者とともに、生きることの深淵を覗き込む。現代における重要テーマをめぐって重ねてきた言葉たちを結晶化した対談集。

◆今ここをどう生きるか

——仏教と出会う

塩沼亮潤・横田南嶺著・四六判・185頁・1,650円〈春秋社〉

コロナの時代をこえてどう生きるか。禅と千日回峰行の二人の仏教者が徹底対論。自らの出家のわけから始まって、〈行〉ということ、今この〈世界〉をどう生きて死ぬか、そして〈仏教〉のちからとは。今を生きる我らに示唆豊かに語り尽くされる白熱の対論集。



◆あなたの「生きたい」を支えます

玉置妙憂著・四六判・196頁・1,540円〈佼成出版社〉

現役の看護師であり、尼僧でもある著者は、医療の現場で、死にゆく人や心に悩みを抱える人に寄り添い、話を聴くという「スピリチュアルケア」の活動を続けています。



みんなのための法話シリーズ

◆愛し愛されて生きるための法話

川村妙慶著・A5判・94頁・1,100円・ISBN:978-4-8318-8723-8〈法蔵館〉

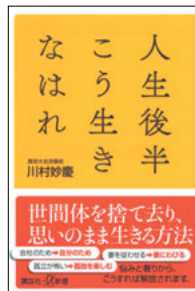
「親子の愛」「男女の愛」「人間関係の愛」「仏さまの愛」など、様々な愛について、京都の人気女性僧侶が語る。豊かな人生を送るために読んでおきたい短編法話集。



◆人生後半こう生きなはれ

川村妙慶著・新書判・175頁・924円〈講談社〉

定年を迎えたら「毎日がむない」「この先が不安」「モヤモヤする」といった相談が増えました。寿命が尽きるまで、つまり「死」までの長い道のりが曖昧模糊として不安ということです。



特集2 2025年法語カレンダー

早いもので今年も三分の二が過ぎてゆきました。
そろそろカレンダーの準備でもしましょうか？

◆2025年(令和7年) ほのぼのカレンダー

詩:東井義雄、絵:諏訪間千晃、文字:谷内正遠・150円〈法蔵館〉

東井義雄先生の心あたたまのお言葉を12ヶ月の法語に、
谷内正遠先生の木版画文字と諏訪間千晃先生の絵で
彩る大人気カレンダー。

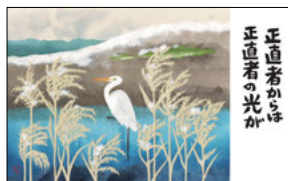
お施本に最適！

ほのぼのカレンダー法語解説書

『正直者からは
正直者の光が』

東井義雄著・31頁・110円

ほのぼのカレンダー各月の言葉に沿った、東井義雄先生
のお話を収録。はじめて東井先生を読む方にもおすすめ。



※寺院名等の印刷も承ります。(有料)

詳細は法蔵館営業部 075-343-0458までお問い合わせください。

◆2025年(令和7年) 真宗教団連合 法語カレンダー

真宗教団連合編・150円

〈真宗教団連合〉

真宗教団連合発行の1年を法語と絵によって綴った
カレンダー(2025(令和7)年版)。

写真家・切り絵作家の今森光彦(いまもりみつひこ)氏
による作品を挿絵として掲載しています。



随想集

今日のことば 2025年版

121円 〈東本願寺出版部〉

毎年発行される『法語カレンダー』のことばを
身近に感じていただくための随想集



◆真宗興隆会 2025年版 法語カレンダー

真宗興隆会編・143円

〈真宗興隆会〉

お知らせ

中外日報「宗教文化講座」

法蔵館書店
協賛・出店

テーマ:「未来へ伝え得るもの——先人たちの智慧に学ぶ」

第3回 9月6日(金)「一隅を照らす—落語家・まるこの仏道修行」

〈しんらん交流館・大谷ホール(JR京都駅中央口から北へ徒歩10分)〉

落語家・天台宗道心寺住職 露の団姫氏

第4回 10月4日(金)「仏教の声楽曲「天台声明」の調べ」

〈しんらん交流館・大谷ホール(JR京都駅中央口から北へ徒歩10分)〉

天台宗三千院門跡門主 小堀光實氏

※受講申し込み・お問い合わせ ⇒ 中外日報社営業局出版事業部

希望する講座、氏名、年齢、住所、電話番号をご記入の上、
ハガキ、FAX、メールでお申し込みください。

●受講料は1講座1,000円(税込)

〒601-8004

京都府京都市南区東九条東山王町9番地

TEL:075-682-1625 FAX:075-682-1722

Eメール:shuppan@chugainippoh.co.jp

『秋彼岸と春彼岸の違いってなに?』

お彼岸はご先祖様を供養するのが目的ですから、春と秋に大きな違いはありません。

違いがあるとすると、お供える食べ物やお花が異なるという点です。

春彼岸では「ばたもち」、秋彼岸では「おはぎ」をお供えしましょう。

春に咲く「牡丹」を見立て、こしあんを使った丸い形状のものを「ばたもち」、

秋に咲く「萩」を見立て、粒あんを使った俵型のものを「おはぎ」と呼びますが、

地域による定義の違いもあるため、どちらも同じ食べ物と思っておいても間違い

ではないようです。お花については、春は「マーガレット」や「牡丹」、

秋には「菊」や「リンドウ」をお供えるのが一般的です。

◆改訂新版 大谷派本願寺 伝統行事

——裏話と風物詩

2刷

川島眞量著、川嶋 正編・四六判・194頁・2,420円・ISBN:978-4-8318-7922-6

真宗大谷派の本山(東本願寺)伝承の年中行事や勤行、風物詩について、五十余年に亘り勤めた著者が詳しく紹介した貴重な資料を復刊。

〈法蔵館〉



◆仏教ゆかりの植物図鑑

松下俊英:文、大島加奈子:絵・A5変判・77頁・1,210円

蓮華や菩提樹をはじめ、仏典に登場する様々な植物たち。

そんな植物の名前の由来や、物語を、釈尊(お釈迦さま)の生涯をたどりながら、色彩豊かな絵とともに紹介。植物のみずみずしい世界と仏教の物語を味わう1冊。

〈東本願寺出版〉



◆◆◆法藏館書店売行ベスト10(8月期)◆◆◆

順位	書名	著者名	出版社名	定価(税込)
1	人間はなぜ争うことをやめられないのか	一楽 真講述	真宗佛光寺派	250円
2	儀式作法の心得 [新改訂版]	真宗大谷派大阪教区 出版会議編	真宗大谷派 大阪教区	440円
3	『教行信証』からひもとく浄土真宗の教え 2刷	藤澤信照	法藏館	1,980円
4	【基礎から学ぶ浄土真宗2】念仏往生の教え—南無阿弥陀仏とは何か	内藤知康	法藏館	2,200円
5	【基礎から学ぶ浄土真宗3】信心と利益—救いのよろこび	内藤知康	法藏館	2,200円
6	絶望のトリセツ—人生の危機をのりきる方法	根本一徹、川本佳苗	法藏館	1,540円
7	住職必携—真宗大谷派儀式作法	大谷制以知	法藏館	2,860円
8	親鸞聖人の「御消息」を味わう—現代語訳・解説・原文	瓜生津隆文	自照社	2,310円
9	はじめてふれる坂東本・教行信証	三木彰円	東本願寺出版	1,650円
10	いつも心に阿弥陀さんを—お内仏から問われる 日ごろのごとろ	結柴依子	真宗大谷派 難波別院	110円

【メール配信サービスのご案内】

法藏館書店では、WEBサイトで本をご購入いただいた方やアンケートにお答えいただいた方に新刊情報などのメール配信サービスを行っております。

◎アドレス変更・配信停止について◎

<https://pub.hozokan.co.jp>のページ下の「メールサービス」から、メールアドレスの登録と解除を行ってください。過去のメールもご覧になれます。

◆ご注文・お問い合わせは、メールの他に、電話・FAX・はがきでも承ります。
店頭在庫がない場合はお取り寄せとなります。ご了承ください。

◆荷送料はご購入額合計により
定価16,500円(税込)未満 送料—550円 代引手数料 330円
定価16,500円(税込)以上 送料、代引手数料ともに無料

◆価格表示は全て税込価格です。

法藏館書店 友の会会員募集中!

友の会に入会すると、割引や来店特典など多数の特典をご用意しております。

仏教書友の会

検索

法藏館書店

住 所: 〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入
電 話: 075-343-0458 FAX: 075-371-0458
発行人: 西村明高
E-mail: shop@hozokan.co.jp

<https://pub.hozokan.co.jp>

仏教の風

検索



— [営業日および営業時間] —

月～土: 9:30～18:00

祝 日: 10:30～18:00

(休業日: 毎週日曜日・お盆・年末年始)

法藏館ブログ「編集室の机から」を更新中!



facebook

つぶやき中～!